

らい さん もん 礼 賛 文

— 三 帰 依 文 —

● 人身受けがたし、今すでに受く。仏法聞きがたし、今すでに聞く。

この身今生におかつて度せずんば、さらにいずれの生におかつてか

この身を度せん。大衆もろともに至心に三宝に帰依したてまつるべし。

同音 みずから仏に帰依したてまつる。まさに願わくは衆生とともに、

大道を体解して無上意をおこさん。

みずから法に帰依したてまつる。まさに願わくは衆生とともに、

ふかく経蔵に入りて知恵海のごとくならん。

みずから僧に帰依したてまつる。まさに願わくは衆生とともに、

大衆を統理して一切無碍ならん。

● 無上甚深微妙の法は、百千万劫にもあい遇うことかたし。われ今見聞

し受持することをえたり。願わくは如来の眞実義を解したてまつらん。